

皆

さんは、「議会」と聞いて何を思い浮かべますか？

テレビなどで見かける国会中継や、なんとなく「難しそう」というイメージも持っている人もいると思います。

市では毎年、次代を担う中学生に、市政や議会に対する関心を深めてもらうため、中学生議会を開催しています。

中学生議会は、中学生自らが「議員」となり、1日限りの模擬議会を開催します。

この議会では、12人の中学生議員が、日頃生活している中で感じていることや、まちづくりへの思いなどを、自分たちの言葉で市の執行部に問いかけます。中学生ならではの視点や実体験に基づく質問は、実際の議会さながらです。

当日は、中学生議員の中から選ばれた議長が、実際の議会と同様に進行していきます。

今回の特集では、7月28日に市議会議事堂で開催した、今年度の中学生議会の模様をマンガ仕立てのダイジェストでお伝えします。

市の将来を担う、中学生議員の「まちづくり」に対する真摯な姿勢をぜひ、ご覧いただければと思います。



【特集】 ^{みらい} 未来を担う若者たち

市中学生議会を開催

中学生議会の前に、市議会について少し説明します。

市議会とは

市議会の役割

つくばみらい市を快適に住みやすいまちにするために、市長は、道路をつくったり学校を修理したり、いろいろな事業を行っています。また、市民は、これらの事業に対してさまざまな要望を持っています。

市議会は、市民の要望を市の事業に反映させるために、市議会議員が集まって会議（本会議）を開きます。

この会議で、市長から提案された事業の計画や予算、市の条例などについて、それで本当に良いのかどうかを話し合って決めます。

会議では、議員の中から選ばれた議長が進行役となり、話し合いを進めていきます。

定例会と臨時会

市議会は、1年に4回、3月、6月、9月、12月に開催します。これを定例会といいます。

また、どうしても急いで決めなければならぬことがあるときには、臨時に議会を開くことができます。これを臨時会といいます。

一般質問

本会議で、議員が市の事業や将来の方針などについて質問することを、一般質問といいます。一般質問は定例会で行われます。

今回の中学生議会も、この一般質問の形式をとっています。

市議会議員の人数

市議会議員や市長は、4年に1回選挙で選ばれます。当市の議員の人数は、条例で18人と定めています。

市議会議員になれるのは25歳以上の市民で、市議会議員を選ぶことができるのは、18歳以上の市民となっています。

議長